

# 村上駅周辺まちづくりプラン (基本構想)

<案>

## ※注意事項

この資料は第7回策定委員会の審議により、記載内容の一部を修正することになりました。つきましては記載内容に変更が生じますので、あらかじめご了承ください。



## < 目 次 >

<b>第1章</b>	<b>計画の策定にあたって</b> .....	1
第1節	策定の目的.....	1
第1	背景と目的.....	1
第2節	計画の位置づけ.....	1
第1	計画の位置づけ.....	1
第2	対象区域・計画期間.....	1
<b>第2章</b>	<b>駅周辺の現況と課題</b> .....	3
第1節	村上駅周辺の現況等.....	3
第1	村上駅周辺の現況特性.....	3
第2	村上総合病院の移転について.....	8
第3	村上駅周辺地区の“強み・弱み”.....	9
第4	村上駅周辺地区内で活動する人.....	10
第2節	上位計画による位置づけ.....	11
第3節	市民等の意向.....	13
第1	駅周辺地区の評価と将来担うべき機能について.....	13
(1)	現状の評価.....	13
(2)	駅周辺地区が今後担うべき機能.....	14
(3)	大規模跡地の活用について.....	15
第2	駅周辺地区の将来像について.....	16
第4節	駅周辺地区まちづくりの課題.....	18
(1)	駅前の賑わいや玄関口としての魅力に乏しい.....	18
(2)	駅前空間及び公共交通の利便性の低さ.....	18
(3)	駅東西の分断感.....	18
(4)	地区内移動時の制約.....	19
(5)	周辺地区等とのアクセス性.....	19
(6)	居住環境の魅力不足.....	19
<b>第3章</b>	<b>駅周辺のまちづくり基本方針</b> .....	20
第1節	駅周辺まちづくりの視点.....	20
(1)	持続的な発展・活性化に資する都市機能の配置と誘導.....	20
(2)	「らしさ」・「魅力」の創出.....	20
(3)	市民等の主体的活動と行政の先導的支援.....	20
第2節	基本方針.....	21
(1)	駅東口の機能向上【キーワード：駅前空間】.....	21
(2)	駅東西の連絡性強化及び移動円滑化【キーワード：東西の連絡】.....	21
(3)	公共交通サービスの利便性向上【キーワード：公共交通】.....	21

(4)	都市拠点・にぎわい空間の形成【キーワード：交流】 .....	22
(5)	暮らすための環境づくり【キーワード：定住】 .....	22
(6)	駅周辺地区へのアクセス環境づくり【キーワード：地区アクセス】 .....	22
<b>第4章</b>	<b>方針実現のための取り組み</b> .....	<b>24</b>
第1節	基本方針と施策及び取り組みの位置づけ.....	24
第2節	施策の概要と取り組み.....	25
第3節	施策と具体的な取り組み内容.....	27
<b>第5章</b>	<b>参考資料</b> .....	<b>30</b>
第1	計画策定の経過.....	30
第2	策定委員会.....	34
第3	用語の解説.....	37

# 第1章 計画の策定にあたって

## 第1節 策定の目的

### 第1 背景と目的

村上市では、厚生連村上総合病院（以下「村上総合病院」）が村上駅西側に移転する計画があり、現村上駅前の区域が、空洞化、衰退しないよう移転後の跡地利用策や活性化策、及び駅周辺の土地利用や施設整備について検討する必要があることから、村上駅周辺のまちづくりを推進するための基本的な方針及び計画として「村上駅周辺まちづくりプラン」（以下「まちづくりプラン」）を策定します。

まちづくりプランは、第1次村上市総合計画及び村上市都市計画マスタープランの方針に則り、駅西口の開設も考慮した駅の東西間移動に係る整備や、市民の利便性の向上を図る駅の西側の整備、及び村上総合病院移転後の跡地利用を柱としたハード面の整備と、活性化のためのソフト事業について計画するものです。

なお、まちづくりプランで計画された施策は、村上駅周辺のまちづくりの基本方針実現のための構想であり、施策の実施については、その時点での本市の財政状況、社会情勢を考慮し、実施の可否、実施時期、施策の詳細部分、活用できる国県の支援事業等を改めて検討することとなります。

## 第2節 計画の位置づけ

### 第1 計画の位置づけ

村上駅周辺まちづくりプランは、上位計画である「第1次村上市総合計画」および「村上市都市計画マスタープラン」に基づき、村上駅周辺地区のまちづくりに関わる基本的な方針を定めるとともに、その実現に必要な具体的な施策・取り組みを定めるものです。

なお、計画の推進にあたっては、村上市景観計画等の関連計画や各種個別計画・事業等との連携・調整を図ります。

### 第2 対象区域・計画期間

概ね村上駅を中心とした半径500m圏内の村上駅周辺地域を対象区域としていますが、地域住民の利便性の向上や安全性の確保、商業・観光などが活性化されるために必要な施設や、道路などのインフラ整備も想定されることから、施策によっては半径500m圏内を超えるものも含まれます。

計画期間は、10年を想定していますが、前述したとおりその時点での本市の財政状況、社会情勢を考慮し検討することとします。

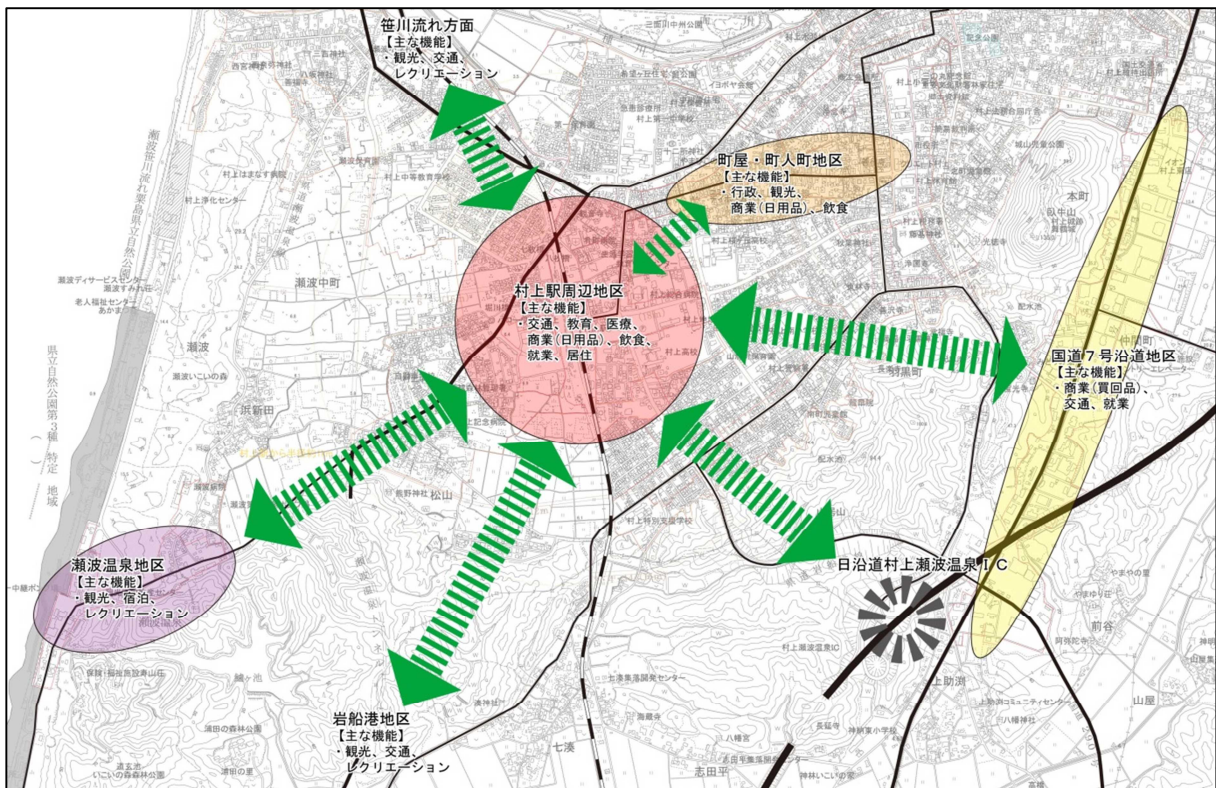


図. 対象区域の位置

## 第2章 駅周辺の現況と課題

### 第1節 村上駅周辺の現況等

#### 第1 村上駅周辺の現況特性

村上駅周辺地区は、駅を中心とした半径500m内には約1,700人が、半径1,000m内では約10,000人（市全体の約15%）が居住しています。古くから宅地が形成されている住区では、住民の高齢化や世帯当たり人員数の減少が見られます。また近年では、空き地や未利用地が増えて、賑わいの低下や生活環境や景観面での不安要素となっています。

JR村上駅は1日あたり約3,600人が乗降し、日常の通勤・通学をはじめ市外からの観光客も利用しています。市内の乗合バス路線の大半は村上駅を発着地としており、村上駅は重要な交通結節点となっています。その一方で現在の村上駅は、改札口が東側にしかないことから東西の行き来がしにくい形態となっています。駅前広場も手狭で歩行者・自転車とタクシー・乗合バス、市民や観光の送迎車などの動線が交錯する状況にあります。

駅東側には、商店街や観光案内所のほか、村上総合病院や図書館、生涯学習推進センター、高校など多様な施設が立地しており、日常的に多くの市民が利用しています。駅西側は、駅に近接してショッピングセンターがあり、主に駅西側住民の生活拠点となっています。

<p><b>[①人口・世帯]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少</li> <li>○世帯人員の減少（一人暮らし世帯の増加）</li> <li>○高齢化への対応</li> </ul>	<p><b>[②土地利用]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○病院移転による大規模跡地</li> <li>○空き地、空き家、未利用地</li> <li>○景観への配慮</li> </ul>	<p><b>[③都市基盤]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○駅西側の道路網整備</li> <li>○歩行・自転車走行の環境整備</li> <li>○鉄道横断箇所の不足</li> <li>○公園・広場等の不足</li> <li>○駐車場の整備</li> </ul>
<p><b>[④都市機能・サービス]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地区内に多様な市民が存在（高校生、通院者、その他公共施設利用者など）</li> <li>○駅前通り商店街の活力低下</li> <li>○東西で都市機能が線引き</li> </ul>	<p><b>[⑤駅・駅前空間の機能]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○駅前での多様な交通動線の錯綜</li> <li>○歩行者・自転車の安全確保</li> <li>○駅の東西間での連絡が無い</li> <li>○駅前空間の魅力</li> </ul>	<p><b>[⑥公共交通（鉄道・バス）]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通の利便性</li> <li>○駅西地区の乗合バス利用環境</li> <li>○公共交通利用者、送迎者の活用</li> </ul>
<p><b>[⑦にぎわい・コミュニティ]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントによるにぎわい創出</li> <li>○イベントを開催する場</li> <li>○町屋・町人町地区との連携</li> <li>○商店街、地域コミュニティ</li> </ul>	<p><b>[⑧安全（防災）]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民や来訪者が利用できる防災拠点</li> <li>○駅西での防災拠点、緊急輸送道路</li> </ul>	<p><b>[⑨他拠点との関係性]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺他地区との機能分担・アクセシビリティ（歩行、公共交通、道路）</li> <li>○駅西口の必要性</li> </ul>
<p><b>[⑩近年の動向]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○病院移転に伴う大規模跡地／○住宅地整備、定住人口確保／○駅西地区の整備に伴う駅西口の必要性</li> </ul>		

図. 駅周辺地区の将来まちづくりにおける視点

表. 村上駅周辺地区の現況特性・課題

項目	現況特性・課題
①人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人口は駅半径 500m 以内で増加、その他では減少傾向。増加傾向がみられる主な町内は、飯野西、山居町1、緑町4,5など。</li> <li>○世帯数は駅西側で増加、東側で減少。駅前と駅西を合わせると、駅から 500m 以内では増加傾向にある。</li> <li>○高齢率 40%超が田端町、松山、35%超が飯野桜ヶ丘。20%未満は飯野西、緑町5、松原町1～3など。</li> </ul>
②土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧ジャスコ跡地(現病院向け駐車場)のほか、まとまった未利用地が複数散在。</li> <li>○現村上総合病院が移転した場合、未利用地となる。</li> <li>○既存の商店街や住宅地等で空き家が存在。</li> <li>○駅周辺地区の地価は商業地、住宅地ともに低下傾向。</li> <li>○都市計画の用途地域や準防火地域、景観計画区域などに指定。</li> </ul>
③都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅東側は幹線道路の配置が充実し、歩道も概ね整備。一方、駅西地区の幹線道路は国道 345 号のみで道路網が形成されていない。</li> <li>○鉄道横断箇所は、駅から離れた場所に3か所。平面横断(踏切)もある。</li> <li>○公園・広場が未整備。</li> <li>○一般車が利用できる駐車場は、旧ジャスコ跡地(約 400 台収容)のみ。</li> </ul>
④都市機能・サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療 [村上総合病院]、就学 [村上高校、桜ヶ丘高校]、交流 [中央図書館、生涯学習推進センター] などの機能が立地。居住機能は戸建て住宅中心</li> <li>○駅前～肴町間の都計道田端5号線沿線の「駅前通り商店街」を中心に、店舗や飲食店が立地。連続性に欠け、駐車スペースが殆ど無い。駅西側には駅西ショッピングセンター(原信等)のほか、国道 345 号沿線に小規模な店舗等が点在。</li> </ul>
⑤駅・駅前空間の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅前広場は、東西約 40m・南北約 90m の空間内に一般車乗降場、駐輪場、バス・タクシーの乗降場があり、瀬波温泉等の送迎バスも乗り入れる。動線が輻輳し、歩行者・自転車の専用空間が確保されていない。一般車の利用スペースは5台程度。</li> <li>○駅舎内にはコンビニエンスストア、レンタカー、交番などの施設がある。</li> <li>○現状で駅西側への連絡通路や改札口は無い。</li> </ul>
⑥公共交通（鉄道・バス）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乗合バスは、駅前を起点に乗合バス5路線と巡回バス2路線が走行。駅西側から駅へアクセスできないため、駅前へ移動している。</li> <li>○鉄道は1日平均約 3,600 人が乗降（三条駅、柏崎駅と同等規模）。</li> <li>○村上総合病院行の乗合タクシーが近隣（神林、朝日、山辺里・瀬波）から運行。</li> </ul>
⑦にぎわい・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○村上駅周辺のイベントは「万燈神輿祭渡御～ばらはちかん～」、「軽自動車 de ふれあい直売所」、「村上駅前イルミネーション」など。</li> <li>○地区まちづくり協議会、町内会、商店街等の地元住民による組織が存在している。</li> <li>○市外からの入込も多い「町屋の人形さまめぐり」、「村上大祭」、「町屋の屏風まつり」などのイベントは駅から徒歩圏内にある。</li> </ul>
⑧安全（防災対応）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅から 500m 以内の指定避難所は村上高校及びグラウンドのみ。</li> <li>○一次避難所となる公園・広場が殆どない。</li> <li>○駅西側の指定避難所は、駅から 1000m 近く離れた村上中等教育学校が最も近く、緊急輸送道路も国道 345 号のみ。</li> </ul>
⑨他の拠点との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○村上市街地には、①旧城下町[旧町人町・旧武家町]（行政、観光、飲食）、②国道7号沿道（商業・飲食）や、③瀬波温泉（観光・宿泊）、④岩船港（観光）などの拠点があり、駅周辺地区（村上駅）はこれら拠点を結ぶ拠点となる。</li> </ul>



項目	現況特性・課題
⑩近年の動向	<ul style="list-style-type: none"><li>○平成 22 年度に村上駅バリアフリー化設備の整備[車いす対応 EV、ホーム間連絡跨線橋等]</li><li>○平成 25 年 3 月に生涯学習推進センターが開設、平成 26 年 3 月に観光案内所「村上旅なび館」が開設。</li><li>○駅西で土地区画整理事業[平成 19～21 年度]、合わせて村上駅西ショッピングセンター開設[平成 21 年 6 月]。</li><li>○平成 25 年 5 月に村上総合病院の移転候補地が駅西に決定。</li></ul>





参考・村上駅周辺地区の現況図

凡 例

●	店舗
●	飲食店
●	宿泊施設
●	行政施設
●	文化・教育施設
●	医療・福祉施設
●	交通施設
○	金融・郵便施設
●	その他施設
■	大規模公共施設用地
○	バス停留所
●	バス路線網
■	用途地域界
---	町丁界・町丁名
■	H12 H11 H22 国勢調査人口(人)

※建物形状表示は建築面積500㎡以上の建築物

■はまなす病院  
病床数: 222床  
診療科目: 内・精・神・産

■瀬波病院  
病床数: 92床  
診療科目: 内・外・産・リハ

■村上駅前地区のイベント  
・万燈神楽渡御〜ばらばらん〜 (6月頃)  
・軽自動車 de ふれあい直売所 (月1回程度・村上地域振興局駐車場)  
・村上駅イルミネーション (冬)  
・SL村上ひな街道号 (3月)  
・SL村上原風まつり号 (9月)

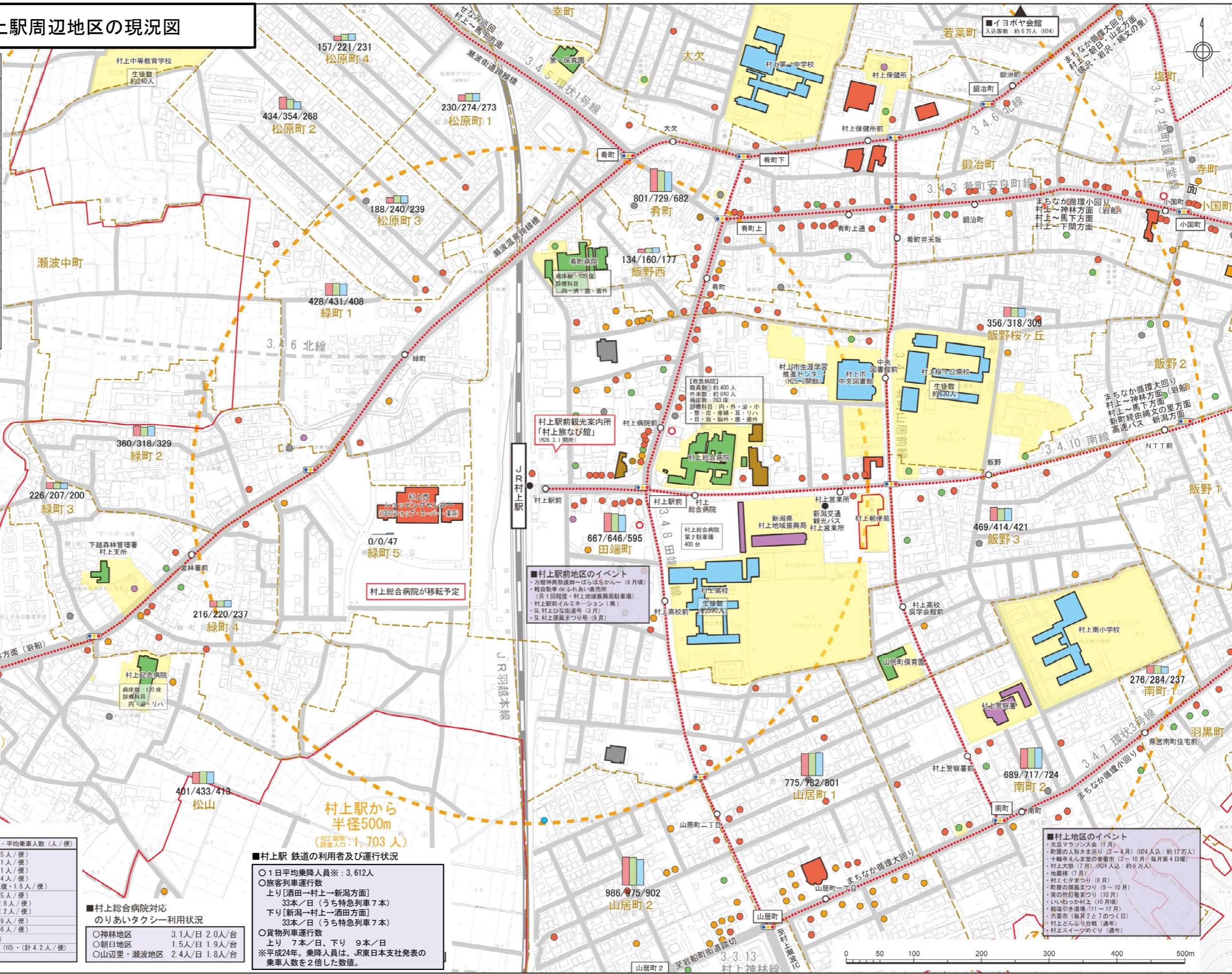
■村上地区のイベント  
・元旦マツソン大会 (1月)  
・新暦の早起きまつり (3~4月) (124人込: 約12万人)  
・十輪寺えんま堂の骨董市 (3~10月・毎月第4日曜)  
・村上大祭 (7月) (124人込: 約6万人)  
・地蔵様 (7月)  
・村上七夕まつり (8月)  
・新暦の節振まつり (9~10月)  
・青の竹灯籠まつり (10月)  
・いっわっか村上 (10月頃)  
・鮎川引き道場 (11~12月)  
・六畜市 (毎月2・7のつく日)  
・村上どんぶり合戦 (通年)  
・村上スイーツのめぐり (通年)

■村上総合病院対応  
のりあいタクシー利用状況

○神林地区	3.1人/日 2.0人/台
○朝日地区	1.5人/日 1.9人/台
○山辺里・瀬波地区	2.4人/日 1.8人/台

■路線バス等運行・利用状況

路線	運行数 (平日往復)・平均乗車人数 (人/便)
村上〜朝日・山北方面 (猿沢・岩沢・縄文の里)	北中 (4往復・3.5人/便) 塩野町 (5往復・4.1人/便) 大須戸 (4往復・4.1人/便) 高根 (5往復・2.4人/便) 縄文の里朝日 (6往復・1.5人/便)
村上〜神林方面 (岩船)	岩船駅 (3往復・3.5人/便) 松原 (10往復・2.8人/便) 小岩内 (1往復・12.2人/便)
村上〜馬下方面	馬下 (2往復・3.9人/便)
村上〜下関方面	下関 (4往復・0.6人/便)
高速バス 新潟方面	新潟 (2往復・-)
まちなか循環バス	大回り (5)/小回り (10) (計4.2人/便)
せなみ巡回バス	(4便・-)



村上駅から半径1000m  
(H22国勢調査人口: 10,083人)

村上駅から半径500m  
(H22国勢調査人口: 1,703人)

■村上駅 鉄道の利用者及び運行状況

○1日平均乗降人員※: 3,612人

○旅客列車運行数  
上り [酒田→村上→新潟方面]  
33本/日 (うち特急列車7本)  
下り [新潟→村上→酒田方面]  
33本/日 (うち特急列車7本)

○貨物列車運行数  
上り 7本/日、下り 9本/日  
※平成24年。乗降人員は、JR東日本支社発表の乗車人数を2倍した数値。



## 第2 村上総合病院の移転について

村上総合病院は、県北地域の基幹病院として、救急告示病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院などに指定され、地域医療における重要な役割をはたしていますが、現在の病院施設（本館）は建築から約45年が経過し、老朽化・狭隘化が進んでいるほか、建物の耐震性に懸念があるなど建て替えが大きな課題となってきました。

厚生連では平成20年頃から移転新築の検討が始まり、当初は4箇所（旧ジャスコ跡地、山居山、山辺里、駅西）を候補地として検討されてきましたが、検討を進める中で、旧ジャスコ跡地は土壤汚染が確認されたこと、山居山は地質に課題のあることから候補地から除かれることとなりました。このような経緯から、現在地、山辺里、駅西の3箇所について検討が行われることとなりましたが、厚生連において駅西を新築候補地とすることが決定され、平成25年5月村上市に対し候補地決定の報告がありました。

旧ジャスコ跡地の面積は、約1万平方メートルです。ジャスコ以前に製錬工場が立っていた場所で、イオン株式会社が所有しています。病院の移転場所候補として検討されていたため、平成23年、病院建設用地として適地かどうか確認する調査を実施しましたが、有害物質を確認したことから病院用地には不適切と判断されました。現在、アスファルト舗装されており、村上総合病院が借り受け、有料駐車場として使用しています。

病院規模・診療内容		
項目	現病院(H26.1.末現在)	
施設	5階建	
病床	263床	
診療科目	18科	
医師	26人	(常勤)
非常勤	約 7人	
研修医	3人	
看護師	約 175人	
職員	約 340人	(全職員数)
外来患者	約 720人/日	以上
入院患者	約 220人/日	
年間手術	約 4,600件	
年間出産	約 310件	
駐車場		
項目	現病院(H26.1.末現在)	
病院敷地内	215台	
隣接地	400台	旧ジャスコ跡地
職員用	55台	病院周辺
計	670台	



病院入口



駅前交差点と病院・駐車場

図. 村上総合病院の概要

### 第3 村上駅周辺地区の“強み・弱み”

村上駅周辺地区は、鉄道駅や医療・就学・文化等の多様な交流機能を有する施設が立地することなどの活性化のために優位な条件を備えている一方で、鉄道を挟んだ東西分断や駐停車スペースの不足、低未利用地の増加に加えて、市全体の課題でもある高齢化や車社会などの課題に対応していく必要があります。

表. 村上駅周辺地区の強み・弱み

	村上駅周辺地区内の状況	村上駅周辺地区を取り巻く状況
プラスの要素※	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人が日常的に集まる施設（学校、病院、オフィス、図書館等）が存在。様々な人が訪れている。</li> <li>○鉄道とバスの交通結節点として他地区を利用する人もいる。</li> <li>○駅から徒歩圏内（500m内）に約1,700人が居住。</li> <li>○旧ジャスコ跡地の駐車場は400台収容可能。</li> <li>○主な道路は歩道が整備されている。駅及び施設間の歩行・自転車移動の空間は確保されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道やバスなど公共交通による移動環境が整備されている。</li> <li>○JR村上駅は特急が停車するなど、鉄道利用による観光来訪者の玄関口。駅前の観光案内所が新設された。</li> <li>○高速道路〔日本海東北自動車道〕のインターチェンジから駅前への自動車による移動環境が整備された。</li> </ul>
マイナスの要素※	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄道を挟んで東西が分断されている。車及び歩行等で、相互の行き来ができない。都市機能は、東西で連携していない。</li> <li>●旧ジャスコ跡地をはじめとした、低未利用地や空き家が存在。それらの利用計画が定まっていない。</li> <li>●村上駅前、バスやタクシー、送迎車（市民・観光）等の利用する空間が十分確保されていない。</li> <li>●駅前空間や駅周辺地区内の道路は、冬期降雪時の除雪サービスが十分ではない。</li> <li>●地区居住者の高齢化が進行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●依然として車社会が浸透し、公共交通による移動は限られた人（高校生や高齢者）のみ。</li> <li>●高速道路インターチェンジから駅西側へ自動車による移動に制約がある。</li> <li>●村上総合病院の移転候補地が、駅西側に決定。今のままでは、駅東側からの移動に大きな制約が生じる。</li> <li>●村上市街地の他拠点と都市機能やサービスが重複している。</li> </ul>

※プラスの要素は、将来のまちづくりにおいて優位な条件として積極的に活かすべき要素、マイナス要素は今後のまちづくりの負の要因として配慮もしくは解決すべき要素。

#### 第4 村上駅周辺地区内で活動する人

村上駅周辺地区は、地区内に居住する市民に加えて、地区固有の特性から日常的に様々な人が訪れ活動しています。そうした人、あるいは企業・団体が、地区の活性化を図るうえで重要な役割を果たすプレイヤーであると考えます。それぞれの行動や意識を把握し、これからのまちづくりに活用していくことが求められます。

表. 駅周辺地区内で活動する人や企業・団体

	行動や特徴※
地区住民	○常に地区内に居住／○少子高齢化が進み、東西問わず一人暮らしが多い／○コミュニティ希薄／○空き家を無くしたい／○徒歩圏内で用事をすませたい（15分で動ける範囲）／○朝、散歩する人多い／○旧ジャスコ跡地等を便利にしてほしい／○新しいもの、おしゃれなものが好き／○自由通路は、あれば便利程度／○買物は駅西（原信）、マックスバリュー等
商店街	○商品の仕入・販売・サービスをする／○売上・後継者を確保したい／○空き店舗・空き地を無くしたい／○駐車場が少ない／○田端町外の人が来て商売しているお店が多い／○近くに居住し、借家で商売／○村上総合病院の移転は困る／○大型店にない魅力がある？／○固定客が多く、意外と広範囲／○サービス業多い（飲食・酒・八百屋・理容・美容）／○他業種への配達が多く、個人客相手は少ない／○店舗数（37件）20年で半分以下
買い物客	○徒歩・自転車で買い物をする／○お金を持っている／○特定少数のリピーターが多く、店主と仲が良い／○荷物を持って歩かない／○国道7号沿いに無い特徴的なお店を好む／○ジャスコのシャトルバスに、結構乗る／○1kmを越える移動は車利用／○駐車場が無く不便／○駅東買物者は少なく、駅西側の人は駅西原信を利用
学生 （高校生等）	○通学する（鉄道・徒歩・自転車・送迎）／○高校生が多く、放課後は図書館・塾、コンビニを利用する／○市に愛着がない？／○勉強熱心／○鉄道等の待ち時間の居場所がない／○行儀が悪い（外で飲食・たむろする）／○活性化に役立つかは未知数
勤労者 （勤め人）	○職場に通う／○サービスを提供する／○車移動が主／○休日は地区内にいない／○病院の職員、病院関連業種が多い／○事業所減少により労働者も減少／○宿泊する／○飲み屋利用減少／○お客さんをどこに連れていこうか思い浮かばない
通院者	○病院に通院する／○薬局にも用事がある／○運転が困難な高齢者が増えてくる／○お見舞いの買物する／○車で来る高齢者が多い／○商店街で食事する／○前ほど混んでいないため、通いやすい
観光来訪者	○よそ者／○瀬波温泉や町屋観光を行う／○地域の情報を知りたい／○お土産を買いたい・思い出を残したい／○電車の待ち時間を有効利用したい／○一番この地域に魅力的な印象を持っている／○人との出会い・ふれあいがうれしい／○団体より個人客が増加／○休憩場所、飲食する場所がない／○お金を使う／○定期的に来るリピーターが多い／○泊まる人→安く泊まって、うまいものを食べたい（泊食分離）／○駅～町屋まで歩く人がいる（迷路のような小路が好き）／○温泉客は移動に困っていない／○目的が多様化（大祭・六斎市・海水浴・電車撮影・スポーツ・釣りなど）／○短時間で案内できない
公共交通利用者	○地区内に用事はない／○車を自由に使えない／○地区内に関心がない／○知らないお店に入りにくい／○待ち時間の居場所がない
交通事業者	◇鉄道事業者／◇バス事業者／◇タクシー会社
企業・事業者	◇病院（厚生連村上総合病院、肴町病院）／◇他事業者
団体・組織	◇JA／◇村上市観光協会／◇地区協議会・自治会／◇まちづくり団体
行政	◇ハローワーク村上／◇県振興局・警察／◇村上市

資料：「第3回村上駅周辺まちづくりプラン座談会」（平成26年2月6日）の成果より

## 第2節 上位計画による位置づけ

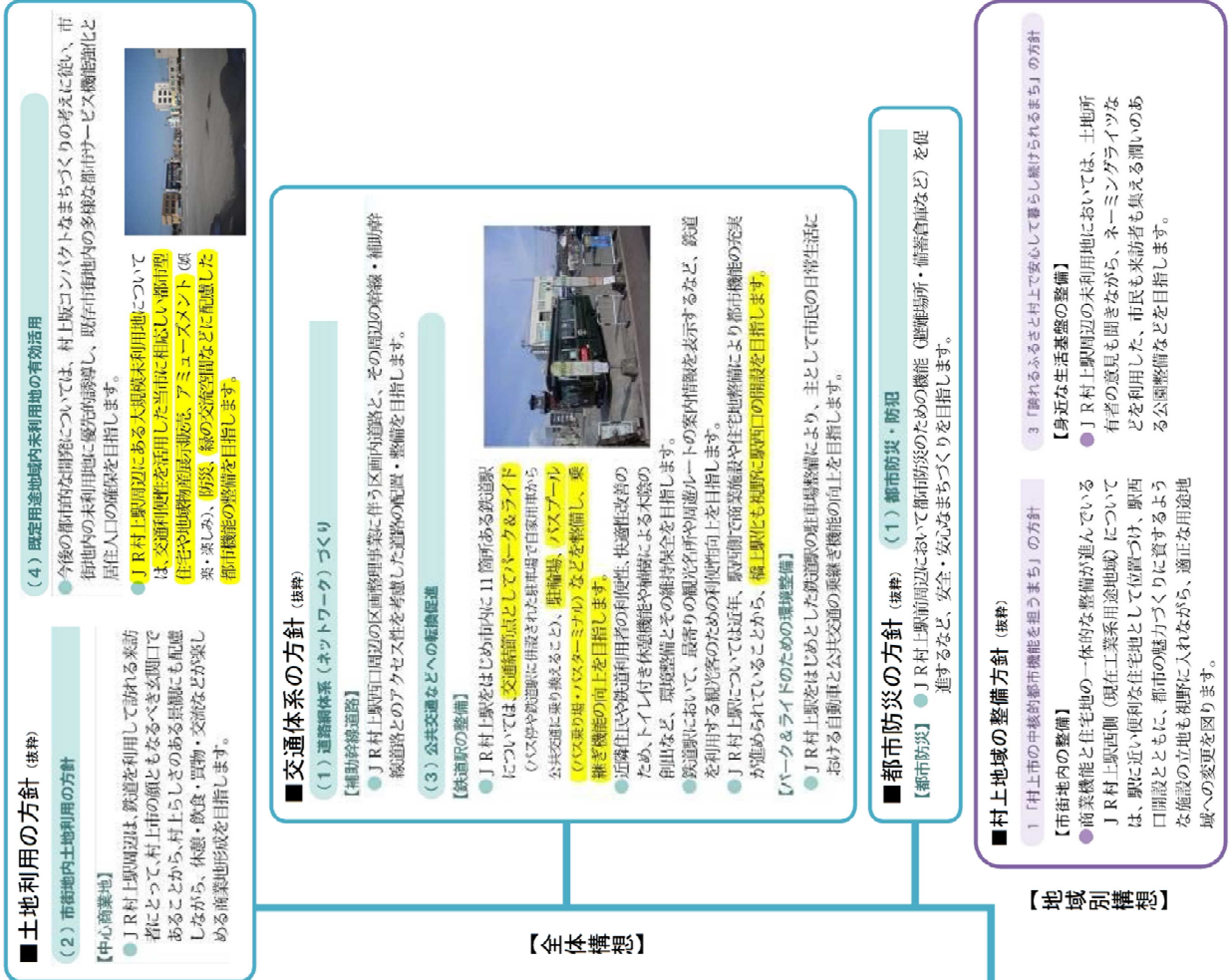
村上市のまちづくりにおいて基本的な方針や事業を定めた総合計画や都市計画マスタープランでは、村上駅周辺の整備方針について次のように位置づけています。

表. 上位計画における駅周辺地区の位置づけ

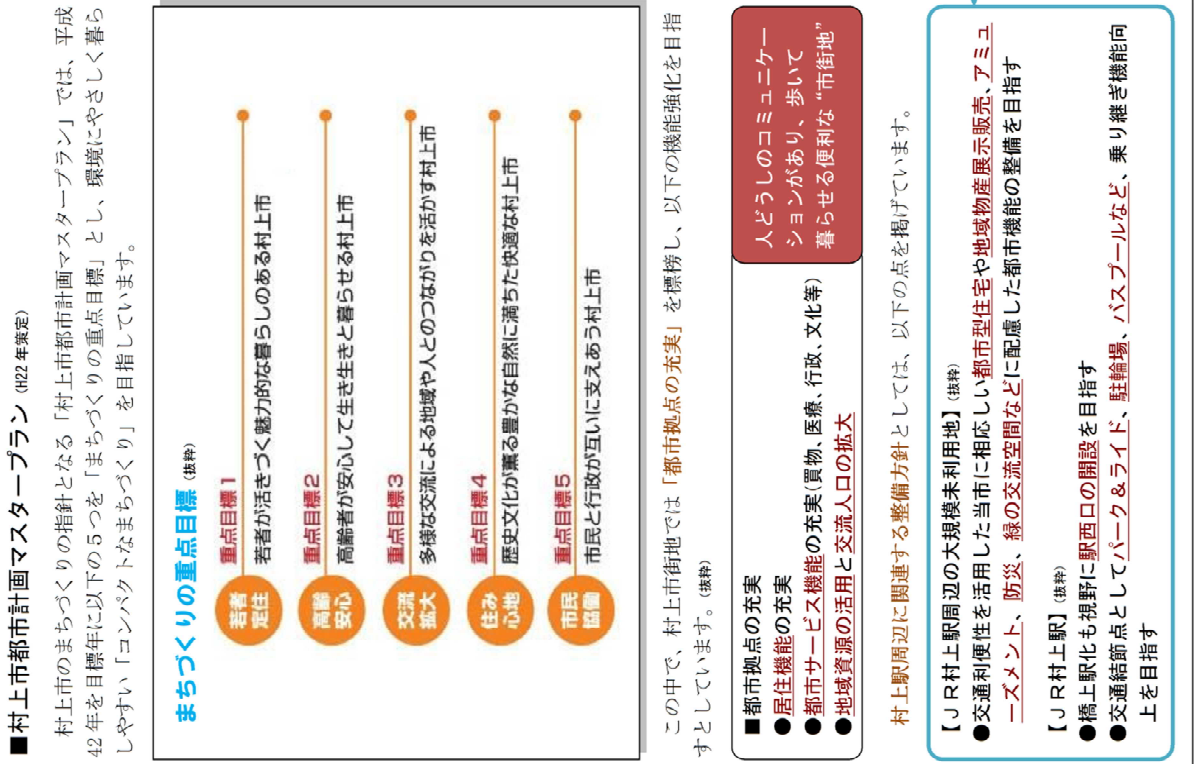
上位計画	計画での位置づけ ※抜粋
<p>第1次村上市総合計画 [計画期間：平成 21～28 年度]</p>	<p>安全で快適な住みよいまちづくり                      &lt;良好なまちづくりの推進&gt;                      ・都市計画マスタープランにより、計画的で効率的な土地利用の誘導を行います。                      ・魅力的でコンパクトな市街地形成に資する有効な土地利用を推進します。                      &lt;公共交通の充実&gt;                      ・主要となる駅周辺の回遊性*を高め、利便性の向上、アクセシビリティの向上を図るため、東西自由通路など公共基盤の整備を検討します。                      ※回遊性：駅施設や駅周辺の交通環境改善を図り、行き止まりのない動線をつくることで往来しやすくすること。</p>
<p>村上市都市計画マスタープラン [計画期間：平成 22 年度から概ね 20 年間]</p>	<p>村上駅周辺に関連する整備方針                      &lt;JR村上駅&gt;                      ・橋上駅化も視野に駅西口の開設を目指す。                      ・交通結節点としてパーク&amp;ライド、駐輪場、バスプールなど、乗り継ぎ機能向上を目指す。                      &lt;JR村上駅周辺の大規模未利用地&gt;                      ・交通利便性を活用した当市に相応しい都市型住宅や地域物産展示販売、アミューズメント、防災、緑の交流空間などに配慮した都市機能の整備を目指す。</p>

＜村上駅周辺地区に関する記述＞

※左ページに放棄した箇所を■黄色で着色



【参考】村上都市計画マスタープランにおける駅周辺地区の位置づけ





### 第3節 市民等の意向

#### 第1 駅周辺地区の評価と将来担うべき機能について

平成25年11月に市民等を対象に実施したアンケートから、駅周辺地区に対する市民意向を以下に整理します。

##### (1) 現状の評価

現在の村上駅及び駅前空間については、「送迎時の駐停車スペース」や「駐車場の容量」に対する満足度が低く、次いで「東西間での行き来」「駅前空間の広さ」に対する不満が挙げられています。

また現在の駅前地区（駅東側）については、「駐車場の容量」や「公園など屋外で休憩する場」に対する満足度が低く、次いで「にぎやかで明るい雰囲気」「買い物や飲食する場」などに対する不満が挙げられています。

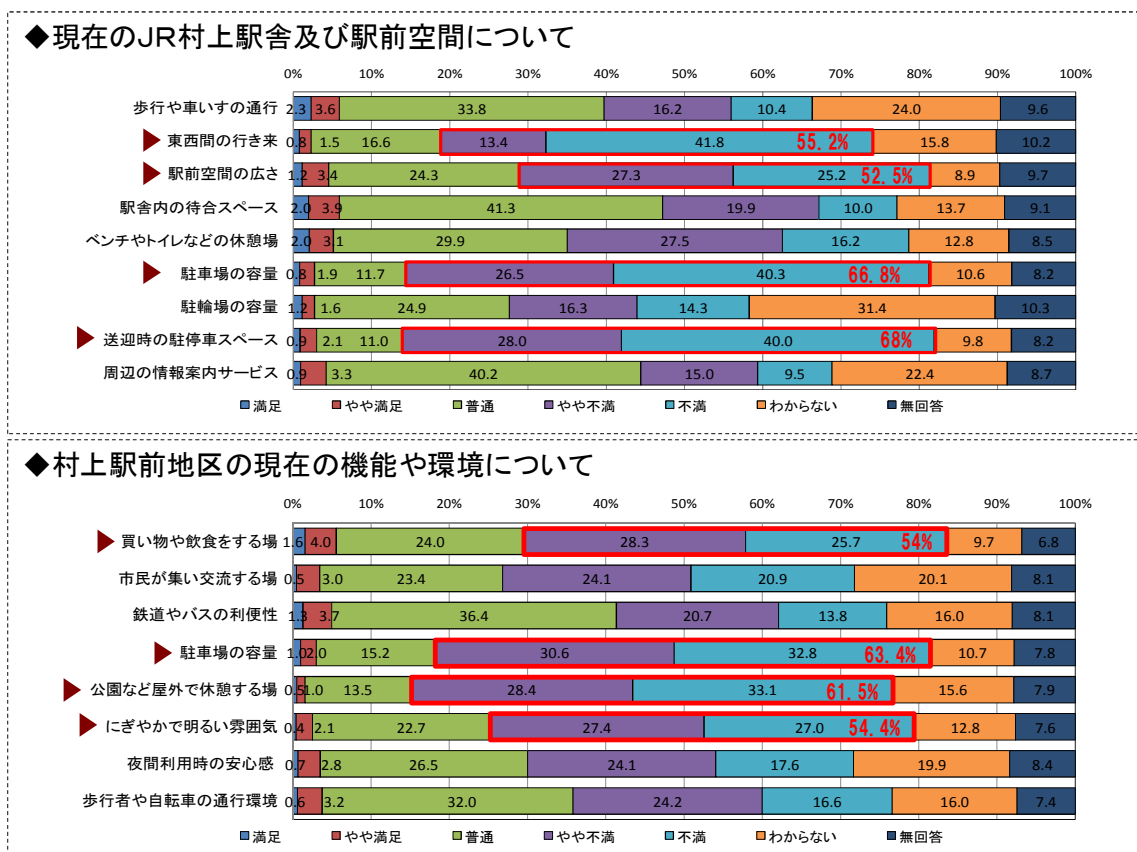


図. 現在の機能や環境に対する評価（市民アンケート）

(2) 駅周辺地区が今後担うべき機能

今後、駅及び駅前地区が担うべき機能としては、「買い物や飲食をする機能」が最も多く、次いで「市民や来訪者が憩い安らぐ場」「公共交通の利便性」などが、どの回答者からも共通して多く挙げられました。

また、駅西側での駅機能については、駅周辺居住者や高校生からは「今すぐにも必要」という回答が多く挙げられ、一般市民や駅利用者からも「将来的には必要」という回答が多く寄せられました。

◆将来、村上駅及び駅前地区をにぎわいのあるまちにするために、今後担うべき機能・役割

機能・役割	一般市民	駅周辺居住者	高校生等	駅利用者
▶ 買い物や飲食をする機能	814	352	299	115
医療を受ける場	441	134	31	53
子育てや高齢者生活を支援する福祉の場	248	117	43	18
市民が集い交流する場	215	93	64	43
居住の場	31	16	18	2
▶ 市民や来訪者が憩い安らぐ場	499	227	139	84
災害時の避難や救援活動の場	123	73	18	61
▶ 公共交通の利便性	507	207	169	72
来訪者のための場	451	204	77	59
その他	23	20	5	6
わからない	63	15	24	2

(あてはまるものを3つ選択。それぞれ上位3位の施設に着色 ■:1位、■:2位、■:3位)[単位:件]

図. 今後担うべき機能・役割（市民アンケート）

◆駅西側での駅機能の必要性

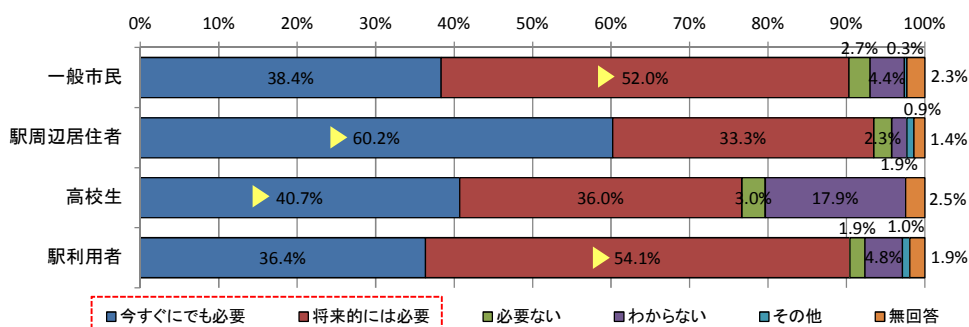


図. 駅西側での駅機能について（市民アンケート）

### (3) 大規模跡地の活用について

村上総合病院移転後の跡地について、市が検討していた「統合保育園」以外の利用としては、一般市民と駅周辺住民からは「社会福祉施設」「商業施設」が望ましいという回答が多く、高校生と駅利用者からは「商業施設」「公園・広場」が望ましいという回答が多く寄せられています。

また、旧ジャスコ跡地の将来的な利用については、「多目的広場・緑地」が望ましいという回答が多く寄せられました。

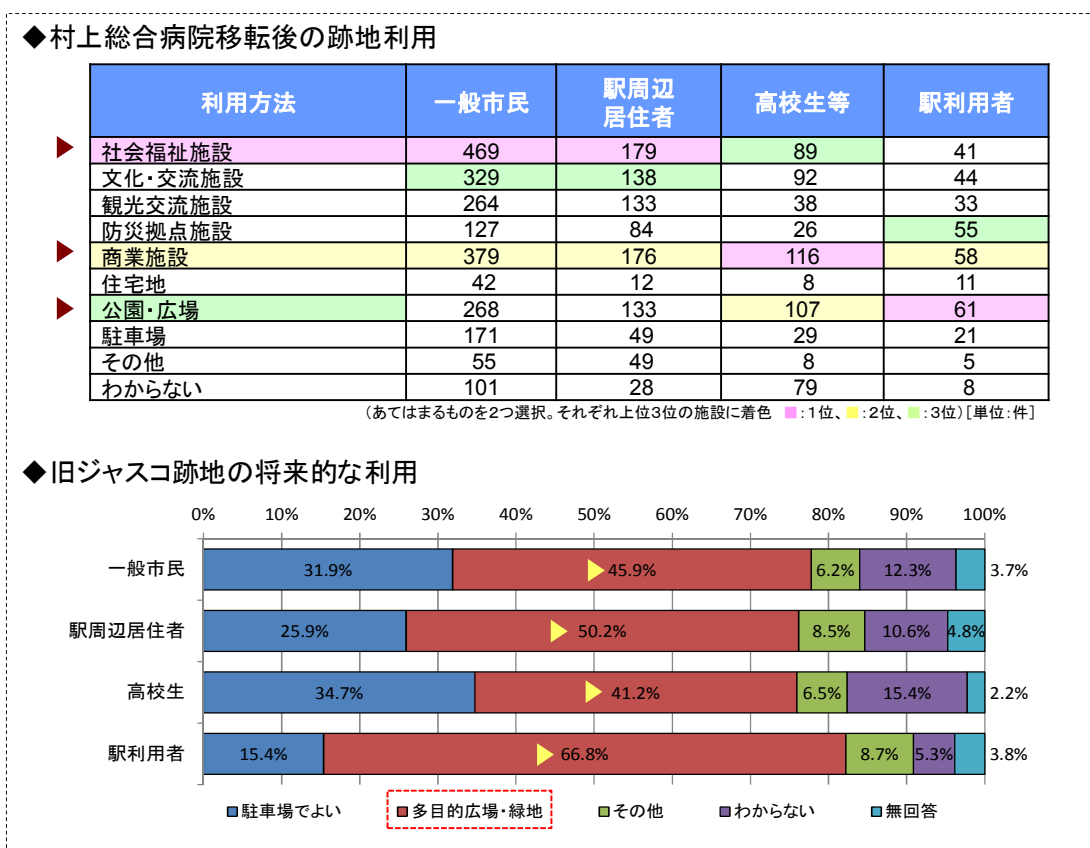


図. 大規模跡地の活用について（市民アンケート）

## 第2 駅周辺地区の将来像について

市民アンケートの調査結果をもとに、より具体的な課題や解決策について意見交換をするため、平成26年1～2月の間に計3回にわたり市民による座談会を開催しました。座談会では「村上駅周辺地区の全体像」「駅の機能及び移動環境」「駅周辺のまちづくり」について、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

座談会において、駅周辺地区の将来像について次のような意見が示されました。

表. 駅周辺地区の10年後の将来像（座談会）

キーワード	将来像・イメージ
にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集うまち</li> <li>・交流が生まれる町</li> <li>・市民も観光客も楽しい町</li> <li>・住民の暮らしと活動が見える</li> <li>・わくわくが広がる駅前</li> <li>・まちづくりの息吹が感じられる</li> <li>・官民が集積した（株）村上の玄関口</li> </ul>
暮らしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も子供も暮らしやすい町</li> <li>・きれいで人情味豊か</li> <li>・村上で一番便利な地域</li> <li>・緑豊かで眺めの良い</li> <li>・JRと二次交通との連携基地</li> <li>・福祉・医療・介護施設の集積</li> <li>・災害に適応する町</li> </ul>
魅力・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域な村上観光のハブ基地</li> <li>・村上観光のシンボルゾーン</li> <li>・海・夕日・山に感動</li> <li>・城下町村上の再発見とPR</li> <li>・物作り・職人の仕事</li> <li>・村上の特産品の集積地</li> <li>・何でもよいから「日本一〇〇なまち」と言えるまち</li> </ul>
健康・元気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気ターミナル「発信」・「発進」</li> <li>・健康、歩く</li> <li>・健康ゾーンを作る</li> <li>・歩いて回ることでできる中心エリア</li> <li>・若いスポーツの才能</li> </ul>
駅西の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村上駅西口をつくる</li> <li>・東西往来</li> <li>・観光自由通路「夕日ロード」</li> <li>・瀬波温泉に歩いて行ける</li> <li>・駅西も村上の顔だ</li> </ul>
おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村上独自の“おもてなし”を感じられるまち</li> <li>・もてなしの空間</li> <li>・駅の両方に観光案内所</li> <li>・駅から出たとき、村上だと思える町</li> </ul>

資料：「第3回村上駅周辺まちづくりプラン座談会」（平成26年2月6日）の成果より

駅周辺地区のあるべき姿		駅 東 側	駅 西 側
場所			
駅舎 及び 駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体として「東側は城下町」、「西側は瀬波温泉」のイメージをつくるべき</li> <li>● あくまで駅東側が主。東側をメインに改善する</li> <li>● 余計な機能、ありきたりの駅前広場は要らない</li> <li>● 時間つぶしができる空間がほしい</li> <li>● むやみに広い空間は不要</li> <li>● 美観は大事</li> <li>● わくわく感、明るい雰囲気にする</li> <li>● 西口を利用者には、東口も利用する仕組みがほしい</li> <li>● 汽車の碑の設置場所を再検討</li> </ul> <p>&lt;東西共通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 駐車スペースや歩道に雨除けが必要</li> <li>● 学生などの休憩スペースをつくる</li> </ul>	<p>&lt;駅舎&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅舎を広く、駅東口を横に広くする</li> <li>● 橋上駅からお城山を望めるようにする</li> <li>● 自由通路にショッピングモールをつくる</li> <li>● 観光案内所は駅舎の中にあるべき</li> </ul> <p>&lt;駅前広場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バス・タクシー・送迎車の動線の整理が必要</li> <li>● 送迎車用に広いロータリーを作る</li> <li>● タクシースペースは小さくてよい</li> </ul> <p>&lt;駐車場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅利用者用に駅付近に必要（月極ではなくパーキング）</li> <li>● 全部無料ではなく、利用しやすいルールづくりが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅西口は必要</li> <li>● 東西で機能分担・差別化が必要</li> <li>● 東側の不足部分を補う（駅広機能は最小限）</li> <li>● 新たにできる病院へのアクセス確保は重要</li> <li>● 広場の規模を十分考えるべき</li> <li>● 駅西口利用者をターゲットとした整備（病院：自由通路、温泉：乗り合いスペース）</li> <li>● 月極駐車場を作り、東側の駐車場不足に対応</li> <li>● 送迎は西側にしてはどうか</li> <li>● 西口ができるなら案内板がほしい</li> <li>● 暮らしに重点を置き、宅地化する</li> <li>● お店はコンビニがあと1店もあれば充分</li> </ul>
周辺の 各種施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「病院跡地の利用」が決まらないと全体が決まられない</li> <li>● 色々な人が訪れ、にぎわいを創出する場であるべき</li> <li>● 子どもと高齢者が交流する場（しかけ）などのアイデアがほしい</li> <li>● 現在の駐車場は、駅前駐車場とは別もののイメージ</li> <li>● 駅から駅前通りのおしゃれな雰囲気づくり</li> <li>● 駅前をまっすぐにし景観を良くする</li> <li>● 南線に枝垂桜</li> <li>● 自転車道を設ける</li> <li>● 若者が返ってくるように特色のある店を増やす</li> <li>● 駅から町屋まで連続性があるとよい</li> </ul>	<p>&lt;村上総合病院移転後の跡地利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● キーワードは、「複合」、「多目的」</li> <li>● 理想は娯楽、飲食、集会施設、行政機能などの集積</li> <li>● イメージ的には「アオーレ」(長岡市)</li> <li>● 市民が利用できる施設があるとよい</li> <li>● 駅前という立地を考えて文化を発信する施設がいい</li> <li>● 若者にはスポーツ施設、高齢者には福祉施設など</li> <li>● 保育園だけはどの年代からもよい意見を聞くことはいらない</li> </ul> <p>&lt;旧ジャスコの跡地利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント利用もできる全天候型の広場空間が望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機能は、買う・住む・医療・温泉の窓口</li> <li>● 駅西口から、瀬波温泉までのウォーキングルートをつくるのもよい</li> <li>● 岩船町街道側踏切から駅西側へのアクセスを改善する</li> <li>● 温泉まで松並木が続くとよい</li> </ul>

## 第4節 駅周辺地区まちづくりの課題

先に示した地区の現状や将来の可能性、市民意向等をもとに、村上駅周辺地区の将来のまちづくりにおける課題を整理します。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 駅前の賑わいや玄関口としての魅力に乏しい</li> <li>(2) 駅前空間及び公共交通の利便性の低さ</li> <li>(3) 駅東西の分断感</li> <li>(4) 地区内移動時の制約</li> <li>(5) 周辺地区等とのアクセス性</li> <li>(6) 居住環境の魅力不足</li> </ul> |
|--|

### (1) 駅前の賑わいや玄関口としての魅力に乏しい

- ①商業機能の衰退、連続性が喪失していること（商店街としての魅力低下）
- ②玄関口としての機能が不足していること
  - ・景観的な魅力や統一感、滞留・休憩する場、観光情報等の発信など。
- ③市街地全体の中での駅前地区の役割が乏しいこと
  - ・他地区との関係性・役割分担を明確化する必要がある。
- ④大規模施設跡地[村上総合病院・旧ジャスコ跡地]の利活用
- ⑤地区内に低未利用地（空き地・空家等）が点在していること
- ⑥にぎわいを創出する取り組みを充実する必要があること
  - ・定期的なイベント、まつり等

### (2) 駅前空間及び公共交通の利便性の低さ

- ①村上駅の利用環境（交通結節機能が未熟であること）
  - ・駅前広場スペースが狭いこと等による様々な不便・危険がある。（各動線の重なり、バスやタクシー等の駐停車空間、冬期の除雪環境など） ※一方で、市民の中には「今のままで良い」「画一的な駅前は望まない」という意向もある。
  - ・歩行者・自転車の移動やバス待ち空間の安全性・快適性、送迎車や駐車スペースが不足している。
- ②地区内のバス交通網やバス利用環境
  - ・道路網の不足などにより駅西地区のバス交通ネットワークが未熟で、駅東側への移動において迂回を強いられている。
  - ・バスベイ（バス専用の停車スペース）の不足や上屋（雨露から防ぐために設けた、柱に屋根をかけただけの建物）の未設置によるバス待ち客の快適性に課題がある。

### (3) 駅東西の分断感

- ①駅東西の連絡性

- ・鉄道横断箇所の不足や横断部（踏切）付近の幅員狭小やバリアフリー対応の遅れなどによる円滑・安全上の問題がある。

#### ② 駅西側から駅（鉄道）を利用できないこと

- ・今のままでは、将来の村上総合病院移転により、東西分断感（東西間での移動円滑化のニーズ）が更に増す可能性がある。

### (4) 地区内移動時の制約

#### ① 鉄道交差部等における歩行者・自転車空間の安全性・快適性が低いこと

#### ② 歩行空間のバリアフリー環境に課題があること

- ・駅西から交通弱者[高齢者・車いす利用者]の駅前移動は困難な状況にある。

#### ③ 駅西地区内における移動の利便性

- ・都市計画道路の未整備により道路網が未熟で、主要道路に機能が集中している。

#### ④ 交通誘導・案内の不足等

- ・自動車交通の誘導（案内標識等）、歩行者自転車交通のサインネットワークなどの充実が求められる。

### (5) 周辺地区等とのアクセス性

#### ① 駅周辺地区や周辺拠点等とのアクセス環境（移動手段・利便性の充実）をより高める必要があること

- ・駅から市役所周辺や主要観光地等とのアクセス環境改善。
- ・瀬波温泉や岩船港など駅西側にある拠点への移動環境改善（駅西口の必要性）。

#### ② 駅西地区へのアクセス性の向上

- ・骨格交通体系における高速 I C や国道 7 号から駅西地区への移動環境。

### (6) 居住環境の魅力不足

#### ① 低未利用地（空家・空き地等）の活用・有効利用を図ること

#### ② 住環境の魅力や質を高める機能や空間・施設の充実が必要

- ・公園広場等の身近な遊び場、生活道路の安全安心、買い物・飲食の場など。

#### ③ 住宅地内の通過交通対策

- ・生活道路への通過交通流入等による交通安全対策の充実。

#### ④ 防災・減災への対応

- ・避難路・避難場所の必要性、踏切や狭幅員による緊急車両通行時の制約。

#### ⑤ 冬期の除雪サービスの充実（駅前空間、駅周辺地区内の道路等）

## 第3章 駅周辺のまちづくり基本方針

### 第1節 駅周辺まちづくりの視点

先に掲げた課題を解決し、今後、駅周辺のまちづくりを進めていくうえで配慮すべき視点として、次の3点を掲げます。駅周辺のまちづくりでは、この3つの視点を踏まえながら、具体的な施策を検討することとします。

- (1) 持続的な発展・活性化に資する都市機能の配置と誘導
- (2) 「らしさ」・「魅力」の創出
- (3) 市民等の主体的活動と行政の先導的支援

#### (1) 持続的な発展・活性化に資する都市機能の配置と誘導

- ・村上市のまちづくり拠点として適正な規模の都市機能を配置すること。
- ・民間活力を誘導・支援する環境づくりをめざすこと。
- ・安全・円滑に移動できる道路交通体系づくりを図ること。

#### (2) 「らしさ」・「魅力」の創出

- ・村上市の玄関口としての雰囲気づくりを図ること。
- ・地区全体としての個性と一体感を創出すること。
- ・「行ってみたい・住んでみたい」と思わせる訴求力向上を図ること。

#### (3) 市民等の主体的活動と行政の先導的支援

- ・多様な市民等の参加・協働による活性化を図ること。
- ・市民活動や環境づくりに対する効率的かつ効果的な行政支援。

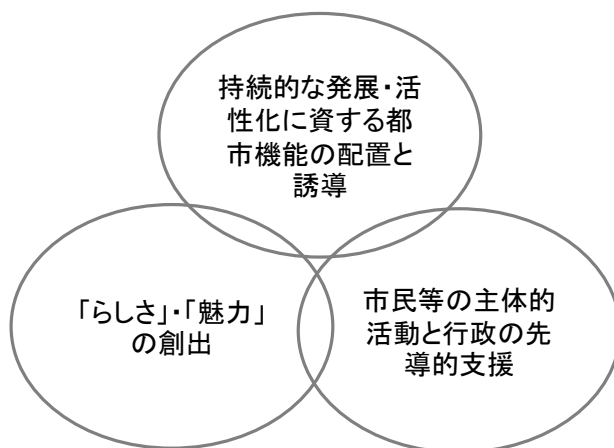


図. 駅周辺まちづくりを進める際の3つの視点



## 第2節 基本方針

先に掲げた3つの視点をふまえ、駅周辺のまちづくり基本方針を以下の通り掲げます。  
 なお村上駅周辺のまちづくりにおいては、それぞれの基本方針が相互に連携し機能することで、まちづくり全体が達成されていくものと考えます。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 駅東口の機能向上</li> <li>(2) 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化</li> <li>(3) 公共交通サービスの利便性向上</li> <li>(4) 都市拠点・にぎわい空間の形成</li> <li>(5) 暮らすための環境づくり</li> <li>(6) 駅周辺地区へのアクセス環境づくり</li> </ul> |
|---|

### (1) 駅東口の機能向上【キーワード：駅前空間】

- ①交通結節点としての村上駅の機能向上（円滑な交通流動の確保）
- ②『市の玄関口（市の顔）』としての整備（駅前空間の整備、良好な景観形成）

具体的な 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅東口広場空間の整備</li> <li>○ 鉄道利用者向け駐車場整備</li> <li>○ 駅前通りの環境整備</li> </ul>
------------	---

### (2) 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化【キーワード：東西の連絡】

- ①駅東西の交流軸（連絡機能）の確保
- ②安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり

具体的な 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅東西を連絡する通路の整備</li> <li>○ 鉄道横断箇所の安全対策</li> </ul>
------------	--

### (3) 公共交通サービスの利便性向上【キーワード：公共交通】

- ①駅を中心とした交通機能の改善
- ②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上
- ③駅西側の交通環境の改善

具体的な 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅の利便性向上</li> <li>○ 駅舎の整備</li> <li>○ 乗合バスの利便性向上</li> </ul>
------------	--

**(4) 都市拠点・にぎわい空間の形成【キーワード：交流】**

- ①住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり
- ②市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり
- ③人が集まり交流する取り組みやしかけづくり
- ④市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり（観光情報、イベント情報）
- ⑤商業地としての魅力再生（空き店舗の活用）

具体的な 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模跡地等の利活用 （地区の核となる都市機能増進施設の整備）</li> <li>○ にぎわい創出のイベントやしかけづくり</li> <li>○ 情報発信拠点の整備</li> <li>○ 商業活性化に向けた取組</li> <li>○ 案内誘導の充実</li> </ul>
------------	--

**(5) 暮らすための環境づくり【キーワード：定住】**

- ①居住環境の質向上（駅周辺地区内の道路、公園、道路付属施設等）
- ②安全・安心の環境整備（交通安全、バリアフリー対策、都市防災）
- ③多様なニーズに応じた居住の場（受け皿）づくり

具体的な 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区内道路の整備</li> <li>○ 公園・広場空間の整備</li> <li>○ 自転車・歩行者空間の整備</li> <li>○ 定住促進の支援方策</li> </ul>
------------	---

**(6) 駅周辺地区へのアクセス環境づくり【キーワード：地区アクセス】**

- ①高速インターチェンジや国道7号から駅西側へのアクセス改善
- ②拠点間アクセスの利便性向上（駅と周辺拠点間、徒歩・自転車・乗合バス等）

具体的な 施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高速インターチェンジ等から駅西側へアクセスする幹線道路の整備</li> <li>○ 案内誘導の充実</li> <li>○ 駅西側の整備及び乗合バスの利便性向上</li> </ul>
------------	---



# 村上駅周辺地区の将来まちづくり方針図

凡 例	
●	店舗
●	飲食店
●	宿泊施設
●	行政施設
●	文化・教育施設
●	医療・福祉施設
●	交通施設
●	金融・郵便施設
●	その他施設
■	大規模公共施設用地
○	バス停留所
—	バス路線網
—	用途地域界
—	町丁界・町丁名



本図は、21～22ページに示した基本方針の内容を、計画対象範囲にあてはめたものです。

- 【基本方針】**
- (1) 駅東口の機能向上
  - (2) 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化
  - (3) 公共交通サービスの利便性向上
  - (4) 都市拠点・にぎわい空間の形成
  - (5) 暮らすための環境づくり
  - (6) 駅周辺地区へのアクセス環境づくり



## 第4章 方針実現のための取り組み

### 第1節 基本方針と施策及び取り組みの位置づけ

先に掲げた6つの基本方針と施策ごとに、具体的に実施する32の取り組みを位置づけます。ここで位置づける取り組みには、複数の施策に関連するものがあります。また取り組みの実施時期は、村上総合病院の移転など社会経済の情勢に応じて着手する優先度を適宜見直す必要があります。

村上駅周辺まちづくりプラン基本構想では、6つの基本方針に優先度を設定する考え方は適用せず、基本方針の下で個々の施策、または具体的な取り組みで優先度を考えることとします。

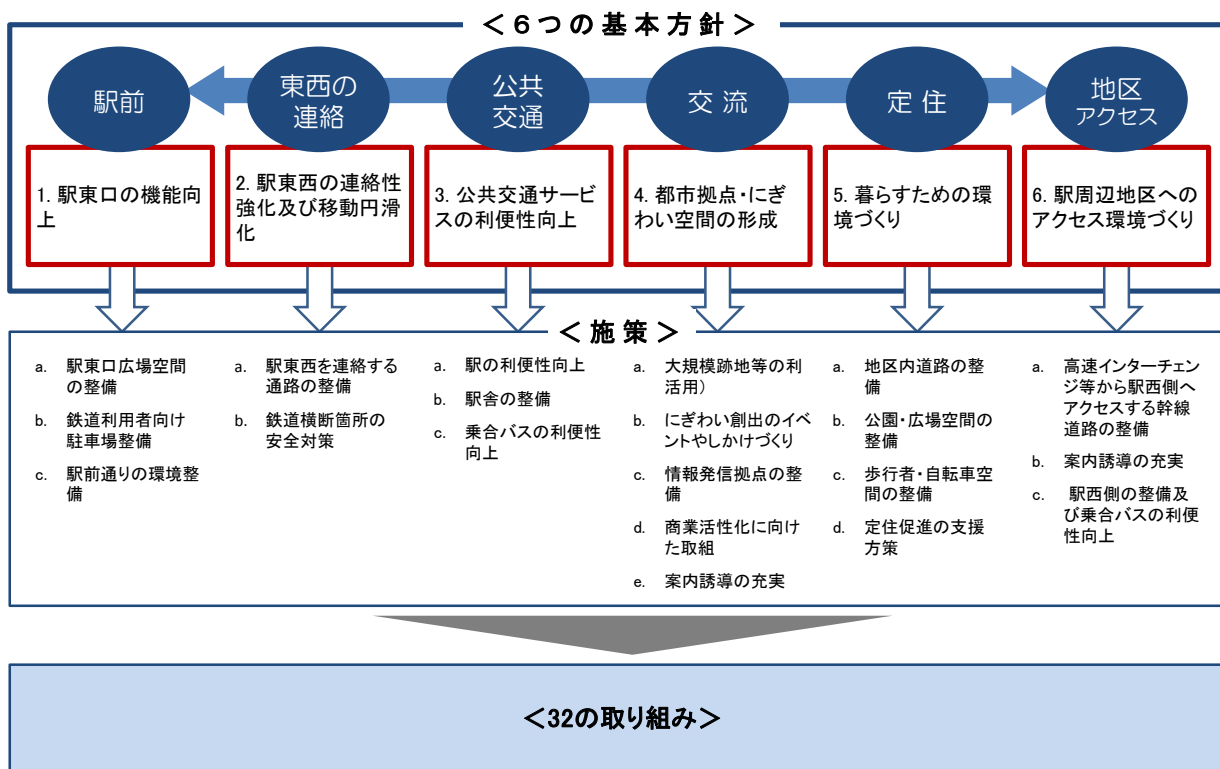


図. 基本方針と施策及び取り組みの位置づけ

## 第2節 施策の概要と取り組み

各施策の概要と、具体的に実施する取り組みを以下に示します。

表. 施策の概要と取り組み

基本方針	施策	概要	取り組み
1. 駅東口の機能向上	a. 駅東口広場空間の整備	○現行の駅東口空間の拡張による駅前広場ロータリーの再整備	駅東側駅前広場整備
	b. 鉄道利用者向け駐車場整備	○パークアンドライドによる鉄道利用を想定した駐車場整備	駅東側駐輪場整備 パークアンドライド駐車場整備
	c. 駅前通りの環境整備	○市の顔となる駅前通り『一般県道村上停車場線(駅前～村上駅前交差点間)』の環境整備	駅前通りグレードアップ
2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化	a. 駅東西を連絡する通路の整備	○駅東西を連絡する歩行者・自転車通路の整備 ○駅西口の整備	連絡通路整備 駅西側駅前広場整備
	b. 鉄道横断箇所の安全対策	○一般県道岩船港線[岩船街道踏切～山居町2交差点間]の道路改良等	一般県道岩船港線[岩船街道踏切～山居町2交差点]の道路改良
3. 公共交通サービスの利便性向上	a. 駅の利便性向上	○現行の駅東口空間でのバリアフリー化、耐候性対策(雨・雪等) ○新たに設ける駅西口空間のバリアフリー化、耐候性確保 ○駅東西を連絡する歩行者・自転車通路の整備	駅西側駅前広場整備* 連絡通路整備* 駅バリアフリー整備 駅待合空間整備
	b. 駅舎の整備	○駅構内のエレベーター等(バリアフリー設備)を活用し駅舎を橋上化する	駅舎整備
	c. 乗合バスの利便性向上	○バス停留所でのバス待ちスペース確保、耐候性対策(雨・雪等) ○駅西口整備や駅西側地区内道路整備に伴う乗合バス路線の見直し	バス待ち環境整備 乗合バスルート見直し
4. 都市拠点・にぎわい空間の形成	a. 大規模跡地等の活用	○村上総合病院移転跡地での都市機能増進施設整備 ○旧ジャスコ跡地での多目的な広場空間整備	都市機能増進施設整備 多目的広場整備
	b. にぎわい創出のイベントやしなげづくり	○地区内での各種イベントの実施(試行的な実施による可能性評価)	にぎわい創出イベントの実施
	c. 情報発信拠点の整備	○地区内及び周辺施設の利用や移動に関する情報発信の環境整備	情報発信施設整備
	d. 商業活性化に向けた取組	○駅前通り商店街の魅力向上のためのソフト的取組(地域主体の取組) ○一般県道村上停車場線沿線等での空き店舗の活用等(チャレンジショップなど)	商業活性化のイベントの実施 チャレンジショップ整備
	e. 案内誘導の充実	○歩行者自転車のサインネットワーク整備(案内看板、サイン、通り名など)	サインネットワーク整備

基本方針	施策	概要	取り組み
5. 暮らすための環境づくり	a. 地区内道路の整備	○地区幹線道路の整備	幹線道路からの交通を駅西地区内に導入分散する地区幹線道路の整備
			駅西地区内を南北方向に連絡する地区幹線道路の整備
		○地区内交通安全対策	拡幅や交差点改良等による地区幹線道路の整備
			通学路における交通安全対策 交通事故多発箇所における対策 災害時の安全対策
	b. 公園・広場空間の整備	○居住者のための身近な公園(街区公園等)の整備	新たな街区公園整備
		○旧ジャスコ跡地での多目的な広場空間整備	多目的広場整備※
	c. 歩行者・自転車空間の整備	○駅西地区内の歩行者・自転車ネットワークの整備	歩行者・自転車ネットワークの整備
		○自転車走行環境の整備	自転車走行環境の整備
	d. 定住促進の支援方策	○多様なニーズに応じた宅地供給推進	街なか居住推進
		○既存家屋等の活用・流通の促進対策	空き地・空家対策推進
6. 駅周辺地区へのアクセス環境づくり	a. 高速インターチェンジ等から駅西側へアクセスする幹線道路の整備	○駅西地区への幹線道路の整備(日東道瀬波温泉IC及び国道7号から駅西口へアクセスする道路)	JR羽越本線立体横断道路整備
	b. 案内誘導の充実	○自動車交通の誘導計画	自動車交通誘導計画の立案・実施
	c. 駅西側の整備及び乗合バスの利便性向上	○駅西口(交通広場)の新設及び駅東西を連絡する歩行者・自転車通路の整備	連絡通路整備※
○駅西口整備や駅西側地区内道路整備に伴う乗合バス路線の見直し		乗合バスルート見直し※	

注：※（網掛け）は、他の施策でも位置づけている取り組み

### 第3節 施策と具体的な取り組み内容

< 目 次 >

基本方針	施策	No	取り組み名	頁
1. 駅東口の機能向上	a. 駅東口広場空間の整備	1	駅東側駅前広場整備	29
	b. 鉄道利用者向け駐車場整備	2	駅東側駐輪場整備	
		3	パークアンドライド駐車場整備	
	c. 駅前通りの環境整備	4	駅前通りグレードアップ	
2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化	a. 駅東西を連絡する通路の整備	5	連絡通路整備	
		6	駅西側駅前広場整備	
	b. 鉄道横断箇所の安全対策	7	一般県道岩船港線[岩船街道踏切～山居町2交差点]の道路改良	
3. 公共交通サービスの利便性向上	a. 駅の利便性向上	再掲(6)	駅西側駅前広場整備	
		再掲(5)	連絡通路整備	
		8	駅バリアフリー整備	
		9	駅待合空間整備	
	b. 駅舎の整備	10	駅舎整備	
	c. 乗合バスの利便性向上	11	バス待ち環境整備	
		12	乗合バスルート見直し	
4. 都市拠点・にぎわい空間の形成	a. 大規模跡地等の利活用	13	都市機能増進施設整備	
		14	多目的広場整備	
	b. にぎわい創出のイベントやしかけづくり	15	にぎわい創出イベントの実施	
	c. 情報発信拠点の整備	16	情報発信施設整備	
	d. 商業活性化に向けた取組	17	商業活性化のイベントの実施	
		18	チャレンジショップ整備	
		19	サインネットワーク整備	
5. 暮らすための環境づくり	a. 地区内道路の整備	20	幹線道路からの交通を駅西地区内に導入分散する地区幹線道路の整備	
		21	駅西地区内を南北方向に連絡する地区幹線道路の整備	
		22	拡幅や交差点改良等による地区幹線道路の整備	
		23	通学路における交通安全対策	
		24	交通事故多発箇所における対策	
		25	災害時の安全対策	
	b. 公園・広場空間の整備	26	新たな街区公園整備	
		再掲(14)	多目的広場整備	
	c. 歩行者・自転車空間の整備	27	歩行者・自転車ネットワークの整備	
		28	自転車走行環境の整備	
d. 定住促進の支援方策	29	街なか居住推進		
	30	空き地・空家対策推進		
6. 駅周辺地区へのアクセス環境づくり	a. 高速インターチェンジ等から駅西側へアクセスする幹線道路の整備	31	JR 羽越本線立体横断道路整備	
	b. 案内誘導の充実	32	自動車交通誘導計画の立案・実施	
	c. 駅西側の整備及び乗合バスの利便性向上	再掲(5)	連絡通路整備	
		再掲(12)	乗合バスルート見直し	



次頁以降、具体的な取り組み内容の挿入  
【資料2参照】

■基本方針		1. 駅東口の機能向上	
■施策		a 駅東口広場空間の整備	
■No.	1	■取り組み名	駅東側駅前広場整備
■現況及び問題点・課題			
<p>&lt;駅前広場空間の面積不足&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスやタクシーの乗降および待機スペースが狭く、容量も限られている。</li> <li>・乗合バスや観光バス等の大型車両は歩道部の乗降場付近まで接近できない状況にある。</li> <li>・一般車の一時的な駐車スペースが不足し、平日朝夕の時間帯において駅前広場や周辺道路に送迎待ち車両が溢れ混雑を招いている。</li> </ul> <p>&lt;広場内での動線重複&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者と自動車の動線が明確に分離されておらず、駅前広場への出入りや広場内の移動において車両相互または車両と歩行者・自転車の動線が重なり合う状況にある。</li> <li>・送迎車等により混雑する朝夕の時間帯では、広場空間内で自動車相互及び歩行者との事故危険性が懸念される。</li> </ul> <p>&lt;イベントでの利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SL運行時など、おしゃぎり屋台の引き廻しや各種イベントの開催場所としても活用されている。</li> </ul>			
■施策概要・取り組み方針			
<p>&lt;施策概要&gt; 現行の駅東口空間の拡張による駅前広場ロータリーの再整備</p> <p>&lt;取り組み方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の駅前広場の面積を拡張し、広場空間の規模やレイアウトを再考することで、より使いやすく安全なものに改善することが望ましい。</li> <li>○タクシーやバスなどの公共交通やマイカーなどの自動車のほか、村上駅及び駅周辺施設を利用する多様な人が安全かつ安心して移動できるよう各動線の確保を図ることが望ましい。</li> <li>○当面は現在の交通空間の機能改善を図り長期的には駅西側との連絡を想定し抜本的な整備を図ることが望ましい。</li> </ul>			

■取り組み内容		
No	取り組み名[仮称]	内 容
1	駅東側駅前広場整備	①現行施設内でのロータリー機能の改善【第一段階】 駅前広場内での移動及び出入り時の安全確保するため、車両及び歩行者動線の見直しにより交通空間機能の改善。
		②駅西連絡通路整備と連携したリニューアル【第二段階】 将来的な駅東西の連絡機能の強化とあわせて、駅前広場の全面的な整備。

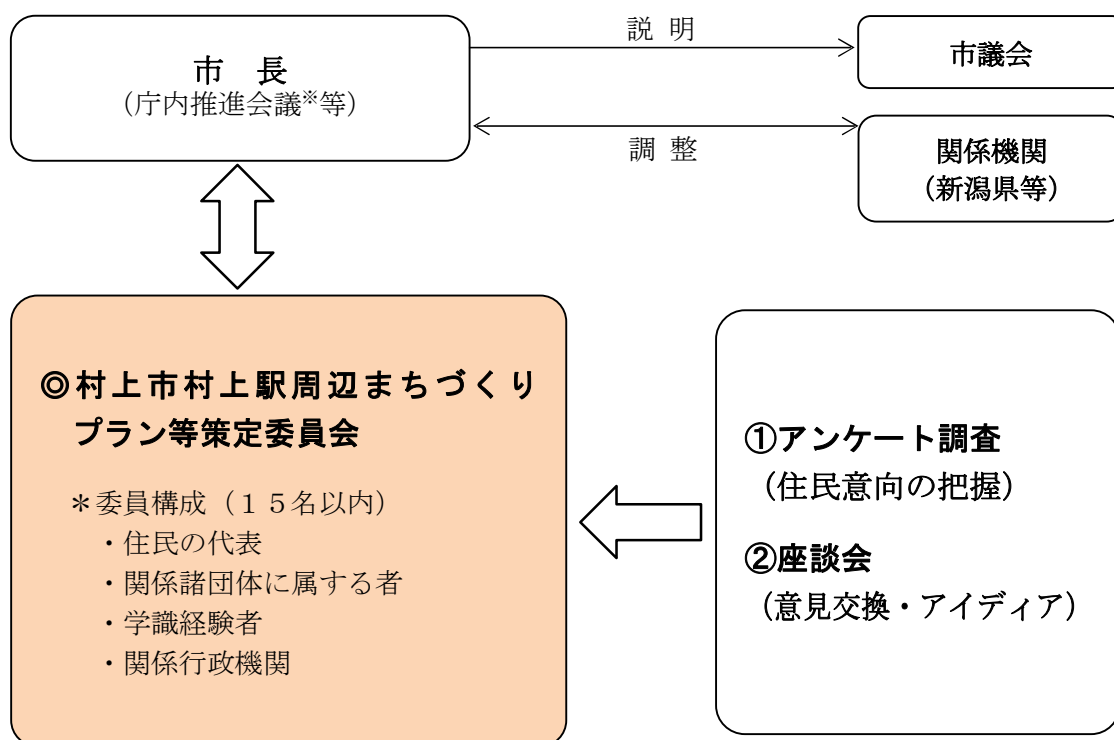
■施策の評価指標	
①駅前広場内のバリアフリー化率[%]／②朝夕の駅前通り送迎待ち車両台数[台/日]／③駅前観光案内所来館者数[人/月]	

## 第5章 参考資料

### 第1 計画策定の経過

村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の策定に際し、アンケート調査や座談会を実施し、策定委員会での審議、庁内推進会議での検討、調整を図りながら策定した。

#### ■策定体制



#### ※庁内推進会議

村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の策定に際し、アンケート調査や座談会を実施し、策定委員会での審議、庁内推進会議での検討、調整を図りながら策定した。

開催日	議 題
第1回庁内推進会議 (平成25年10月10日)	(1) 村上駅周辺まちづくりプラン等庁内調整会議の概要 (2) 村上駅周辺まちづくりプラン策定体制及び策定フロー (3) 村上駅周辺まちづくりプランアンケート調査の実施
第2回庁内推進会議 (平成26年10月22日)	(1) 村上駅周辺まちづくりプラン策定状況について (2) 施策と具体的な取り組み内容(案)について

## &lt;参考&gt;

## 村上駅周辺まちづくりプラン等庁内推進会議設置要綱

平成26年3月31日

訓令第5号

## （設置）

第1条 新潟県厚生農業協同組合連合会村上総合病院（以下「村上総合病院」という。）の移転に伴い、JR村上駅を中心とした区域（以下「村上駅周辺」という。）の公共施設等の整備及び活性化によるにぎわいのあるまちづくりの推進を図るため、村上駅周辺まちづくりプランの策定及び同プランの策定に係る都市再生整備計画等を策定するにあたり、計画内容の検討及び関係部局間相互の調整を図るため、村上駅周辺まちづくりプラン等庁内推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

## （所掌事項）

第2条 推進会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 村上駅周辺の公共公益施設の整備及び土地利用に関すること。
- (2) 村上総合病院の移転後の跡地利用に関すること。
- (3) 村上駅周辺の活性化のためのまちづくりの推進に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、これらに関連する都市再生整備計画等に関すること。

## （推進会議の構成）

第3条 推進会議は、副市長が主宰し、総務課長、財政課長、政策推進課長、自治振興課長、保健医療課長、福祉課長、商工観光課長、農林水産課長、農業委員会事務局長、都市整備課長、下水道課長及び水道局長で構成する。

## （会議）

第4条 推進会議は、副市長が必要と認める都度開催する。

- 2 副市長は、必要に応じ、推進会議に構成員以外の者を参画させることができる。

## （庁内調整部会）

第5条 第2条に規定する所掌事項の具体的な検討及び協議のため、推進会議に庁内調整部会を必要に応じて置くことができる。

- 2 庁内調整部会は、副市長が指名する者をもって構成する。
- 3 庁内調整部会は、検討及び協議の結果を整理し、推進会議に報告するものとする。

## （庶務）

第6条 推進会議の庶務は、政策推進課が担当する。

## （その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

■アンケート調査

①アンケート調査の概要

村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の策定に際し、日常生活におけるJR村上駅の利用状況や駅周辺の課題、利便性の向上を図るための意見を把握するもの。

表・アンケート調査の概要

対 象		実施日	配布／回収	配布数	内 訳
A	一般市民 (Bを除く20才以上 ・無作為抽出)	11/1 発送	郵送／郵送	3,000 人	村上地区：1,274 人 荒川地区：532 人 神林地区：422 人 朝日地区：496 人 山北地区：276 人
B	村上駅周辺 居住者（全戸）	11/5 発送	郵送／郵送	1,052 人	駅前地区：532 人 田端町：179 人 飯野西：64 人 駅西側地区：243 人 緑 町一：145 緑 町二：123 緑 町三：73 緑 町四：87 緑 町五：30 松原町一：94 松原町二：95 松原町三：86 松原町四：76
C	村上地区内 高校生等	11月 ～12月	学校に依頼	403 人	村上高校：180 人 桜ヶ丘高校：155 人 村上中等：68 人
D	JR村上駅 利用者	11/1 実施	手渡し・置取 ／郵送	580 人	—
合 計				5,035 人	

②アンケート調査の配布回収結果

調査期間	平成25年11月1日(金)～12月6日(金)			
種 類	A. 一般市民	B. 駅周辺居住者	C. 高校生等	D. 駅利用者
配 布 数	3,000 通	1,052 通	403 通	580 通
回 答 数	1,350 通	568 通	403 通	209 通
回 収 率	45.0 %	54.0 %	100.0 %	36.0 %

## ■村上駅周辺まちづくりプラン座談会

### ①実施目的

「村上駅周辺のまちづくりプラン等に関するアンケート」の調査結果をもとに、駅周辺整備に向けたより具体的な課題や解決策等を整理・把握するため、駅周辺住民等による検討を行うもの。

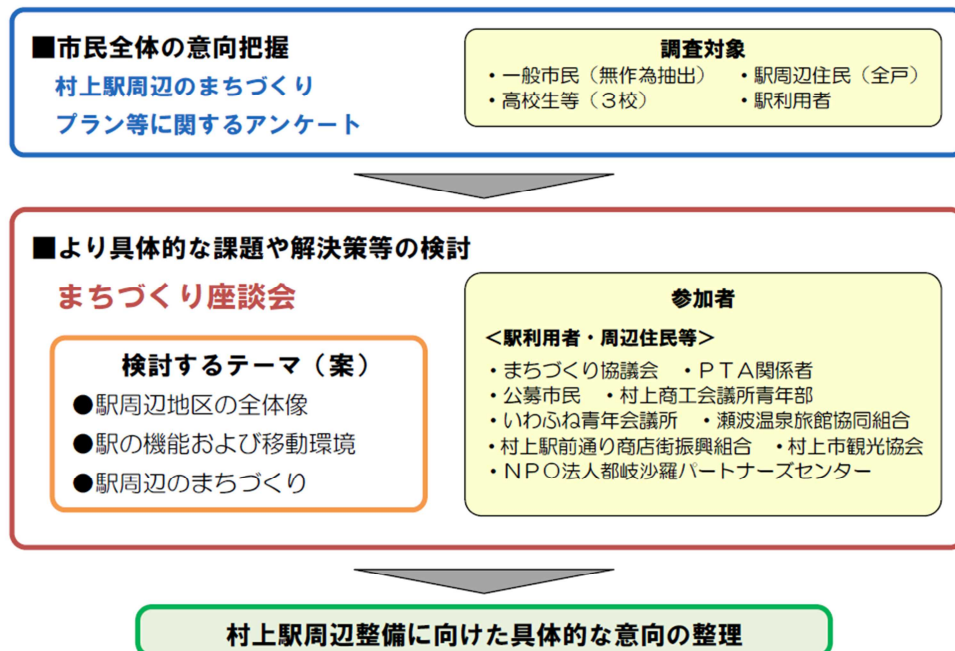


図. まちづくり座談会の流れ

### ②開催概要

参加者を4グループに分け、ワークショップ形式による意見交換を全3回にわたって実施した。

	開催日時・場所	検討内容	参加者
第1回	H26.1.21（火） 19：00～21：00 村上市生涯学習推進センター 2階 大・中会議室	* 駅周辺地区の全体像について ①プラン策定に至る経緯と駅周辺の現状報告 ②アンケート調査結果（速報） ③意見交換 ・村上駅周辺の「良いところ」、「改善すべきところ」 ・村上駅周辺地区が目指す10年後の将来像	27名
第2回	H26.1.28（火） 19：00～21：00 村上市教育情報センター 2階 会議室A・B	* 駅の機能及び移動環境について ①前回のふりかえり ②意見交換 ・村上駅及び駅周辺の施設整備と移動環境 ・実現化に向けた課題と解決策	21名
第3回	H26.2.4（火） 19：00～21：00 村上市生涯学習推進センター 2階 大・中会議室	* 駅周辺のまちづくりについて ①前回のふりかえり ②意見交換 ・登場人物の洗い出し ・地区活性化に向けた将来の取り組み	18名

## 第2 策定委員会

### ①村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会

策定委員会は、村上駅周辺を中心とした区域の公共施設等の整備及び活性化による賑わいのあるまちづくりの推進に関する計画「村上駅周辺まちづくりプラン」を策定するために設置した。

表. 策定委員会の構成

No.	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	村上地区地域審議会	会 長	板 垣 藤 生	～H26.4.30
		委 員	楠 田 正	H26.6.5～
2	荒川地区地域審議会	会 長	会 田 健 次	
3	神林地区地域審議会	副会長	坂 上 孝 雄	
4	朝日地区地域審議会	副会長	大 滝 重 秋	
5	山北地区地域審議会	委 員	斎 藤 千 栄	
6	村上駅前通り商店街振興組合	理事長	石 田 勝 雄	
7	厚生連村上総合病院	事務長	後 藤 正 利	～H26.3.31
		事務長	大 平 直 哉	H26.4.1～
8	村上商工会議所	会 頭	斎 藤 茂	
9	村上市観光協会	会 長	浅 野 謙 一	
10	新潟交通観光バス株式会社	常務取締役	田 巻 耕 介	
11	NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター	副理事長	村 山 優 子	
12	新潟県立大学 国際地域学部	教 授	櫛 谷 圭 司	委員長
13	村上市都市計画審議会	委 員	野 澤 繁	副委員長
14	新潟県村上地域振興局 地域整備部	計画調整課長	渡 邊 秀 美	～H26.3.31
		参 事 (計画調整課長)	林 和 敏	H26.4.1～
15	新潟県村上地域振興局 企画振興部	地域振興課長	綱 島 快 朗	～H26.3.31
		地域振興課長	碓 井 潤	H26.4.1～

②開催状況

開催日	議 題
<p>第1回 (平成26年2月12日)</p>	<p>○まちづくりプランの策定について                      ・策定の背景、目的、位置づけ、策定の流れ、計画構成（案）                      ○アンケート調査結果、座談会の実施報告</p>
<p>第2回 (平成26年2月21日)</p>	<p>○まちづくりプラン基本構想の検討                      ・現況課題の整理                      ・基本方針（案）                      ・具体的な取り組み（案）</p>
<p>第3回 (平成26年3月17日)</p>	<p>○まちづくりプラン基本構想の検討                      ・基本方針（修正案）※前回を踏まえた修正                      ・施策と具体的な取り組み（案）                      ・病院移転後の跡地で想定される機能と考え方（案）</p>
<p>第4回 (平成26年4月24日)</p>	<p>○まちづくりプラン基本構想の検討                      ・施策と具体的な取り組み ※確認                      ・病院移転後の跡地で想定される機能と考え方（案）                      （複数の機能、旧ジャスコ跡地との一体的活用）</p>
<p>第5回 (平成26年6月3日)</p>	<p>○まちづくりプラン基本構想の検討                      ・病院移転後の跡地で想定される機能と考え方（案）</p>
<p>第6回 (平成26年7月29日)</p>	<p>○まちづくりプラン基本構想の検討                      ・病院移転後の跡地の活用について                      ・施策と具体的な取り組みの資料構成について</p>
<p>第7回 (平成26年11月4日)</p>	<p>○まちづくりプラン基本構想について                      ・村上総合病院移転後の跡地の活用について                      ・施策と具体的な取り組みについて（案）                      ・村上駅周辺まちづくりプラン基本構想（案）                      ・今後のスケジュール（パブリックコメントの実施等）</p>
<p>第8回 (平成 年 月 日)</p>	

## &lt;参考&gt;

## 村上市村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会条例

平成25年12月19日

条例第73号

## （設置）

第1条 村上駅周辺を中心とした区域（以下「村上駅周辺」という。）の公共施設の整備及び活性化によるにぎわいのあるまちづくりの推進に関する計画（以下「村上駅周辺まちづくりプラン」という。）を策定するため、村上市村上駅周辺まちづくりプラン等策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## （所掌事項）

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、推進計画の策定に係る次の事項について調査及び審議する。

- (1) 村上駅周辺の公共施設の整備及び土地利用に関すること。
- (2) 新潟県厚生農業協同組合連合会村上総合病院の移転後の跡地利用に関すること。
- (3) 村上駅周辺の活性化のためのまちづくりの推進に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、これらに関連する計画等に関すること。

## （組織）

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 住民の代表
- (2) 関係諸団体に属する者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 関係行政機関の職員

3 委員の任期は、委嘱の日から村上駅周辺まちづくりプラン策定完了の日までとする。

## （委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の中から互選する。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

## （会議）

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

## （意見の聴取等）

第6条 委員会は、調査又は審議に必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提供を求めることができる。

## （庶務）

第7条 委員会の庶務は、政策推進課において処理する。

## （報酬及び費用弁償）

第8条 委員の報酬及び費用弁償は、村上市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成20年村上市条例第46号）に定めるところによる。

## （委任）

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 附 則（平成26年4月23日条例第31号）

この条例は、公布の日から施行する。



### 第3 用語の解説